

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
16	K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：11.8 2022年1～9月累積：7.3 最大減少幅：-11.4</p>
17	E28 卵巣機能障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E28 卵巣機能障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E28 卵巣機能障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：29.3 2022年1～9月累積：15.6 最大減少幅：-22.8</p>
18	M54 背部痛 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M54 背部痛 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M54 背部痛 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：7.8 2022年1～9月累積：4.1 最大減少幅：-20.5</p>
19	J01 急性副鼻腔炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J01 急性副鼻腔炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J01 急性副鼻腔炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-45.4 2022年1～9月累積：-43.7 最大減少幅：-70.2</p>
20	K21 胃食道逆流症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K21 胃食道逆流症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K21 胃食道逆流症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：14.3 2022年1～9月累積：10.4 最大減少幅：-15.7</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
21	J32 慢性副鼻腔炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-28.2 2022年1～9月累積：-29.4 最大減少幅：-49.0</p>
22	R51 頭痛(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R51 頭痛(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R51 頭痛(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：29.3 2022年1～9月累積：28.0 最大減少幅：-29.8</p>
23	D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D50 鉄欠乏性貧血(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D50 鉄欠乏性貧血(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：11.2 2022年1～9月累積：7.7 最大減少幅：-14.9</p>
24	E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：18.5 2022年1～9月累積：16.6 最大減少幅：-11.2</p>
25	F41 その他の不安障害(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F41 その他の不安障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F41 その他の不安障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：26.8 2022年1～9月累積：23.6 最大減少幅：-9.9</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
26	F20 統合失調症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F20 統合失調症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F20 統合失調症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
27	N97 女性不妊症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N97 女性不妊症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N97 女性不妊症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
28	N76 膣及び外陰の その他の炎症 (年 齢階級：15～39 歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N76 膣及び外陰のその他の炎症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N76 膣及び外陰のその他の炎症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
29	T14 部位不明の損 傷 (年齢階級：15 ～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : T14 部位不明の損傷 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : T14 部位不明の損傷 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
30	J03 急性扁桃炎 (年齢階級：15～ 39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J03 急性扁桃炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J03 急性扁桃炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
31	K25 胃潰瘍 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K25 胃潰瘍(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K25 胃潰瘍(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-4.2 2022年1～9月累積：-8.0 最大減少幅：-24.8</p>
32	F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F48 その他の神経症性障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F48 その他の神経症性障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：18.5 2022年1～9月累積：13.5 最大減少幅：-13.4</p>
33	J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒> (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J00 急性鼻咽頭炎[かぜ] <感冒>(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J00 急性鼻咽頭炎[かぜ] <感冒>(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-38.6 2022年1～9月累積：-26.3 最大減少幅：-73.2</p>
34	B07 ウイルス(性)いぼ<疣><疣贅> (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼ<疣><疣贅>(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼ<疣><疣贅>(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：9.3 2022年1～9月累積：10.7 最大減少幅：-3.8</p>
35	N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症) (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症)(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症)(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：4.8 2022年1～9月累積：-0.6 最大減少幅：-18.4</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
36	L50 じんま<蕁麻>疹 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L50 じんま<蕁麻>疹 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L50 じんま<蕁麻>疹 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 23.6 2022年1～9月累積: 18.4 最大減少幅: -13.5</p>
37	N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 71.5 2022年1～9月累積: 66.2 最大減少幅: 5.4</p>
38	I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症) (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症) (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症) (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 10.8 2022年1～9月累積: 7.8 最大減少幅: -10.0</p>
39	H16 角膜炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H16 角膜炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H16 角膜炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -3.9 2022年1～9月累積: -7.1 最大減少幅: -38.0</p>
40	K76 その他の肝疾患 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K76 その他の肝疾患 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K76 その他の肝疾患 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 10.4 2022年1～9月累積: 9.1 最大減少幅: -16.3</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
41	R11 悪心及び嘔吐 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R11 悪心及び嘔吐(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R11 悪心及び嘔吐(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 10.7 2022年1～9月累積: 1.2 最大減少幅: -42.0</p>
42	G40 てんかん(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G40 てんかん(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G40 てんかん(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 3.3 2022年1～9月累積: -0.9 最大減少幅: -15.3</p>
43	J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -54.7 2022年1～9月累積: -43.6 最大減少幅: -78.9</p>
44	M51 その他の椎間板障害(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M51 その他の椎間板障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M51 その他の椎間板障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 5.7 2022年1～9月累積: 2.5 最大減少幅: -18.6</p>
45	J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -94.1 2022年1～9月累積: -99.5 最大減少幅: -99.9</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
46	L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
47	O20 妊娠早期の出血 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O20 妊娠早期の出血 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O20 妊娠早期の出血 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
48	H04 涙器の障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H04 涙器の障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H04 涙器の障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
49	F31 双極性感情障害<躁うつ病> (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F31 双極性感情障害<躁うつ病> (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F31 双極性感情障害<躁うつ病> (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
50	G62 その他の多発(性)ニューロパチ<シ>- (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G62 その他の多発(性)ニューロパチ<シ>- (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G62 その他の多発(性)ニューロパチ<シ>- (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
51	G43 片頭痛 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G43 片頭痛 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G43 片頭痛 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
52	E86 体液量減少 (症) (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E86 体液量減少 (症) (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E86 体液量減少 (症) (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
53	L81 その他の色素異常症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L81 その他の色素異常症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L81 その他の色素異常症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
54	B37 カンジダ症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B37 カンジダ症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B37 カンジダ症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
55	E14 詳細不明の糖尿病 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E14 詳細不明の糖尿病 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E14 詳細不明の糖尿病 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
56	R10 腹痛及び骨盤痛 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R10 腹痛及び骨盤痛 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R10 腹痛及び骨盤痛 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：15.6 2022年1～9月累積：9.4 最大減少幅：-27.8</p>
57	H60 外耳炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H60 外耳炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H60 外耳炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：13.5 2022年1～9月累積：10.4 最大減少幅：-23.6</p>
58	B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-12.2 2022年1～9月累積：-9.0 最大減少幅：-15.5</p>
59	K58 過敏性腸症候群 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K58 過敏性腸症候群 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K58 過敏性腸症候群 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：17.0 2022年1～9月累積：10.4 最大減少幅：-19.7</p>
60	K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：7.1 2022年1～9月累積：4.7 最大減少幅：-16.3</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
61	M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 3.7 2022年1～9月累積: 2.6 最大減少幅: -20.0</p>
62	L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 0.5 2022年1～9月累積: -2.9 最大減少幅: -13.5</p>
63	L21 脂漏性皮膚炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L21 脂漏性皮膚炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L21 脂漏性皮膚炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 22.8 2022年1～9月累積: 23.3 最大減少幅: -6.3</p>
64	M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 10.2 2022年1～9月累積: 7.7 最大減少幅: -22.7</p>
65	E79 プリン及びピリミジン代謝障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E79 プリン及びピリミジン代謝障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E79 プリン及びピリミジン代謝障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 11.1 2022年1～9月累積: 10.3 最大減少幅: -11.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
66	N80 子宮内膜症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N80 子宮内膜症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N80 子宮内膜症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
67	N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
68	J11 インフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J11 インフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J11 インフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
69	R42 めまい<眩暈>感及びよろめき感(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R42 めまい<眩暈>感及びよろめき感(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R42 めまい<眩暈>感及びよろめき感(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
70	R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
71	D25 子宮平滑筋腫 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D25 子宮平滑筋腫(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D25 子宮平滑筋腫(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
72	M47 脊椎症(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M47 脊椎症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M47 脊椎症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
73	E22 下垂体機能亢進症(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E22 下垂体機能亢進症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E22 下垂体機能亢進症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
74	J04 急性喉頭炎及び気管炎(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J04 急性喉頭炎及び気管炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J04 急性喉頭炎及び気管炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
75	L29 そう<搔>痒症(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L29 そう<搔>痒症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L29 そう<搔>痒症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
76	H01 眼瞼のその他 の炎症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H01 眼瞼のその他の炎症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H01 眼瞼のその他の炎症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
77	F43 重度ストレス への反応及び適応 障害 (年齢階級： 15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F43 重度ストレスへの反応及び適応障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F43 重度ストレスへの反応及び適応障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
78	O60 切迫早産及び 早産 (年齢階級： 15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O60 切迫早産及び早産 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O60 切迫早産及び早産 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
79	N30 膀胱炎 (年齢 階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N30 膀胱炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N30 膀胱炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
80	D27 卵巣の良性新 生物<腫瘍> (年 齢階級：15～39 歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D27 卵巣の良性新生物<腫瘍> (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D27 卵巣の良性新生物<腫瘍> (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
81	F45 身体表現性障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F45 身体表現性障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F45 身体表現性障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
82	M75 肩の傷害<損傷> (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M75 肩の傷害<損傷> (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M75 肩の傷害<損傷> (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
83	H40 緑内障 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H40 緑内障 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H40 緑内障 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
84	H00 麦粒腫及びさん<霰>粒腫 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H00 麦粒腫及びさん<霰>粒腫 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H00 麦粒腫及びさん<霰>粒腫 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
85	A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
86	E05 甲状腺中毒症 [甲状腺機能亢進症] (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症] (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症] (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:7.6 2022年1～9月累積:6.1 最大減少幅:-13.8</p>
87	K12 口内炎及び関連病変 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K12 口内炎及び関連病変(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K12 口内炎及び関連病変(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-8.3 2022年1～9月累積:-9.4 最大減少幅:-29.1</p>
88	E03 その他の甲状腺機能低下症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E03 その他の甲状腺機能低下症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E03 その他の甲状腺機能低下症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:24.1 2022年1～9月累積:17.1 最大減少幅:-10.7</p>
89	D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍> (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍> (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍> (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:16.2 2022年1～9月累積:11.7 最大減少幅:-16.4</p>
90	F90 多動性障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F90 多動性障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F90 多動性障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:49.3 2022年1～9月累積:45.8 最大減少幅:1.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
91	D64 その他の貧血 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D64 その他の貧血 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D64 その他の貧血 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
92	F84 広汎性発達障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F84 広汎性発達障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F84 広汎性発達障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
93	M13 その他の関節炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M13 その他の関節炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M13 その他の関節炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
94	S83 膝の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S83 膝の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S83 膝の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
95	M25 その他の関節障害、他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M25 その他の関節障害、他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M25 その他の関節障害、他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
96	R52 疼痛, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R52 疼痛, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R52 疼痛, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
97	H81 前庭機能障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H81 前庭機能障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H81 前庭機能障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
98	R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
99	N87 子宮頸(部)の異形成 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N87 子宮頸(部)の異形成 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N87 子宮頸(部)の異形成 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
100	B00 ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B00 ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B00 ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
1	I10 本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）（年齢階級：40～64歳）	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 5.9 2022年1～9月累積: 5.0 最大減少幅: -9.0</p>
2	E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症（年齢階級：40～64歳）	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 10.6 2022年1～9月累積: 9.7 最大減少幅: -8.8</p>
3	J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>（年齢階級：40～64歳）	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -10.5 2022年1～9月累積: -13.0 最大減少幅: -28.6</p>
4	K29 胃炎及び十二指腸炎（年齢階級：40～64歳）	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K29 胃炎及び十二指腸炎(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K29 胃炎及び十二指腸炎(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -1.2 2022年1～9月累積: -2.5 最大減少幅: -18.1</p>
5	G47 睡眠障害（年齢階級：40～64歳）	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G47 睡眠障害(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G47 睡眠障害(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 9.4 2022年1～9月累積: 6.7 最大減少幅: -8.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
6	K21 胃食道逆流症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K21 胃食道逆流症(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K21 胃食道逆流症(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：10.8 2022年1～9月累積：8.8 最大減少幅：-10.9</p>
7	M54 背部痛(年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M54 背部痛(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M54 背部痛(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：8.4 2022年1～9月累積：5.8 最大減少幅：-13.0</p>
8	H52 屈折及び調節の障害(年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H52 屈折及び調節の障害(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H52 屈折及び調節の障害(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：3.2 2022年1～9月累積：1.6 最大減少幅：-28.6</p>
9	E14 詳細不明の糖尿病(年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E14 詳細不明の糖尿病(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E14 詳細不明の糖尿病(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：1.2 2022年1～9月累積：0.1 最大減少幅：-10.7</p>
10	H10 結膜炎(年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H10 結膜炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H10 結膜炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：4.6 2022年1～9月累積：-4.3 最大減少幅：-31.6</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
11	K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：13.3 2022年1～9月累積：9.4 最大減少幅：-11.6</p>
12	L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：11.0 2022年1～9月累積：8.4 最大減少幅：-13.1</p>
13	J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-50.2 2022年1～9月累積：-34.8 最大減少幅：-73.0</p>
14	J45 喘息 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J45 喘息 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J45 喘息 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-17.7 2022年1～9月累積：-15.0 最大減少幅：-27.5</p>
15	M47 脊椎症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M47 脊椎症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M47 脊椎症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：10.3 2022年1～9月累積：7.4 最大減少幅：-17.2</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
16	E79 プリン及びピリミジン代謝障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E79 プリン及びピリミジン代謝障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E79 プリン及びピリミジン代謝障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：8.1 2022年1～9月累積：7.9 最大減少幅：-6.7</p>
17	K76 その他の肝疾患 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K76 その他の肝疾患 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K76 その他の肝疾患 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：10.6 2022年1～9月累積：10.1 最大減少幅：-10.5</p>
18	K25 胃潰瘍 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K25 胃潰瘍 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K25 胃潰瘍 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-6.7 2022年1～9月累積：-9.3 最大減少幅：-18.4</p>
19	F32 うつ病エピソード (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F32 うつ病エピソード (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F32 うつ病エピソード (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：11.1 2022年1～9月累積：8.9 最大減少幅：-7.0</p>
20	D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：11.4 2022年1～9月累積：7.0 最大減少幅：-14.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
21	L85 その他の表皮肥厚 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L85 その他の表皮肥厚 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L85 その他の表皮肥厚 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
22	J20 急性気管支炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J20 急性気管支炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J20 急性気管支炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
23	M75 肩の傷害<損傷> (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M75 肩の傷害<損傷> (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M75 肩の傷害<損傷> (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
24	M17 膝関節症 [膝の関節症] (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M17 膝関節症 [膝の関節症] (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M17 膝関節症 [膝の関節症] (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
25	E11 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM> (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E11 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM> (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E11 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM> (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
26	G62 その他の多発(性)ニューロパチ<シ>- (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G62 その他の多発(性)ニューロパチ<シ>- (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G62 その他の多発(性)ニューロパチ<シ>- (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
27	M51 その他の椎間板障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M51 その他の椎間板障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M51 その他の椎間板障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
28	J02 急性咽頭炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J02 急性咽頭炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J02 急性咽頭炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
29	A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
30	M81 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>、病的骨折を伴わないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M81 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>、病的骨折を伴わないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M81 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>、病的骨折を伴わないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
31	F41 その他の不安障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F41 その他の不安障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F41 その他の不安障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
32	I20 狭心症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I20 狭心症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I20 狭心症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
33	R51 頭痛 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R51 頭痛 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R51 頭痛 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
34	M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
35	H40 緑内障 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H40 緑内障 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H40 緑内障 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
36	M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
37	J32 慢性副鼻腔炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
38	N18 慢性腎臓病 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N18 慢性腎臓病(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N18 慢性腎臓病(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
39	I50 心不全 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I50 心不全(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I50 心不全(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
40	N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
41	T14 部位不明の損傷 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 1.1 2022年1～9月累積: -0.7 最大減少幅: -20.2</p>
42	B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -13.2 2022年1～9月累積: -10.8 最大減少幅: -15.9</p>
43	E83 ミネラル<鈣質>代謝障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E83 ミネラル<鈣質>代謝障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E83 ミネラル<鈣質>代謝障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 9.8 2022年1～9月累積: 4.1 最大減少幅: -6.1</p>
44	H04 涙器の障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H04 涙器の障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H04 涙器の障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 22.2 2022年1～9月累積: 19.1 最大減少幅: -18.2</p>
45	L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 22.0 2022年1～9月累積: 18.6 最大減少幅: -7.9</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
46	H16 角膜炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H16 角膜炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H16 角膜炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：4.9 2022年1～9月累積：2.5 最大減少幅：-23.7</p>
47	I70 アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症) (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I70 アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症) (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I70 アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症) (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：4.1 2022年1～9月累積：1.4 最大減少幅：-11.4</p>
48	F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：9.9 2022年1～9月累積：6.8 最大減少幅：-9.8</p>
49	R42 めまい<眩暈>感及びよろめき感 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R42 めまい<眩暈>感及びよろめき感 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R42 めまい<眩暈>感及びよろめき感 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：12.6 2022年1～9月累積：9.9 最大減少幅：-14.5</p>
50	L50 じんま<蕁麻疹> (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L50 じんま<蕁麻疹> (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L50 じんま<蕁麻疹> (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：15.2 2022年1～9月累積：12.9 最大減少幅：-10.4</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
51	J01 急性副鼻腔炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J01 急性副鼻腔炎(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J01 急性副鼻腔炎(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
52	N19 詳細不明の腎不全 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N19 詳細不明の腎不全(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N19 詳細不明の腎不全(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
53	M48 その他の脊椎障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M48 その他の脊椎障害(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M48 その他の脊椎障害(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
54	D25 子宮平滑筋腫 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D25 子宮平滑筋腫(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D25 子宮平滑筋腫(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
55	R11 悪心及び嘔吐 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
56	I49 その他の不整脈 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I49 その他の不整脈 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I49 その他の不整脈 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
57	E21 副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E21 副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E21 副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
58	M13 その他の関節炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M13 その他の関節炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M13 その他の関節炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
59	M10 痛風 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M10 痛風 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M10 痛風 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
60	R52 疼痛, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R52 疼痛, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R52 疼痛, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
61	G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
62	B07 ウイルス(性)いぼ<疣><疣贅> (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B07 ウイルス(性)いぼ<疣><疣贅>(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B07 ウイルス(性)いぼ<疣><疣贅>(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
63	F20 統合失調症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F20 統合失調症(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F20 統合失調症(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
64	K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
65	G43 片頭痛 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G43 片頭痛(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G43 片頭痛(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
66	L29 そうく搔痒症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L29 そうく搔痒症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L29 そうく搔痒症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：13.8 2022年1～9月累積：9.1 最大減少幅：-8.2</p>
67	M50 頸部椎間板障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M50 頸部椎間板障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M50 頸部椎間板障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：9.6 2022年1～9月累積：8.8 最大減少幅：-18.0</p>
68	M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：22.2 2022年1～9月累積：16.7 最大減少幅：-14.5</p>
69	M19 その他の関節症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M19 その他の関節症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M19 その他の関節症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：24.2 2022年1～9月累積：21.9 最大減少幅：-8.2</p>
70	J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒> (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒> (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒> (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-46.9 2022年1～9月累積：-36.3 最大減少幅：-69.2</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
71	K58 過敏性腸症候群 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K58 過敏性腸症候群 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K58 過敏性腸症候群 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
72	M06 その他の関節リウマチ (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M06 その他の関節リウマチ (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M06 その他の関節リウマチ (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
73	J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
74	E28 卵巣機能障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E28 卵巣機能障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E28 卵巣機能障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
75	G64 末梢神経系のその他の障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G64 末梢神経系のその他の障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G64 末梢神経系のその他の障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
76	H26 その他の白内障 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H26 その他の白内障 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H26 その他の白内障 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
77	C50 乳房の悪性新生物<腫瘍> (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : C50 乳房の悪性新生物<腫瘍> (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : C50 乳房の悪性新生物<腫瘍> (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
78	H35 その他の網膜障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H35 その他の網膜障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H35 その他の網膜障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
79	K63 腸のその他の疾患 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K63 腸のその他の疾患 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K63 腸のその他の疾患 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
80	H81 前庭機能障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H81 前庭機能障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H81 前庭機能障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
81	J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 4.3 2022年1～9月累積: 3.5 最大減少幅: -10.6</p>
82	E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 15.1 2022年1～9月累積: 9.9 最大減少幅: -9.0</p>
83	K73 慢性肝炎、他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K73 慢性肝炎、他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K73 慢性肝炎、他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 3.1 2022年1～9月累積: 3.5 最大減少幅: -9.8</p>
84	R25 異常不随意運動 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R25 異常不随意運動 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R25 異常不随意運動 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 19.6 2022年1～9月累積: 14.9 最大減少幅: -6.9</p>
85	L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 2.3 2022年1～9月累積: 0.0 最大減少幅: -14.4</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
86	G40 てんかん (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：4.1 2022年1～9月累積：1.2 最大減少幅：-10.4</p>
87	A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-20.7 2022年1～9月累積：-21.8 最大減少幅：-31.5</p>
88	N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症) (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症) (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症) (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：6.9 2022年1～9月累積：2.0 最大減少幅：-27.9</p>
89	E03 その他の甲状腺機能低下症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E03 その他の甲状腺機能低下症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E03 その他の甲状腺機能低下症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：17.9 2022年1～9月累積：13.4 最大減少幅：-10.1</p>
90	L81 その他の色素異常症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L81 その他の色素異常症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L81 その他の色素異常症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：20.0 2022年1～9月累積：14.9 最大減少幅：-17.3</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
91	J03 急性扁桃炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-49.1 2022年1～9月累積：-30.5 最大減少幅：-64.7</p>
92	N40 前立腺肥大 (症) (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N40 前立腺肥大(症)(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N40 前立腺肥大(症)(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：8.0 2022年1～9月累積：7.5 最大減少幅：-10.7</p>
93	F31 双極性感情障害<躁うつ病> (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F31 双極性感情障害<躁うつ病>(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F31 双極性感情障害<躁うつ病>(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：12.1 2022年1～9月累積：9.7 最大減少幅：-6.8</p>
94	M65 滑膜炎及び腱鞘炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M65 滑膜炎及び腱鞘炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M65 滑膜炎及び腱鞘炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：19.2 2022年1～9月累積：15.4 最大減少幅：-17.6</p>
95	H53 視覚障害(年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H53 視覚障害(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H53 視覚障害(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：0.6 2022年1～9月累積：-1.0 最大減少幅：-23.2</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
96	L70 ざ瘡<アクネ> > (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L70 ざ瘡<アクネ> (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L70 ざ瘡<アクネ> (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：19.0 2022年1～9月累積：16.1 最大減少幅：-11.2</p>
97	F45 身体表現性障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F45 身体表現性障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F45 身体表現性障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：4.9 2022年1～9月累積：2.3 最大減少幅：-12.5</p>
98	E05 甲状腺中毒症 [甲状腺機能亢進症] (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症] (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症] (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：12.0 2022年1～9月累積：9.2 最大減少幅：-11.6</p>
99	K12 口内炎及び関連病変 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K12 口内炎及び関連病変 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K12 口内炎及び関連病変 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：4.0 2022年1～9月累積：0.0 最大減少幅：-18.3</p>
100	N28 腎及び尿管の その他の障害、他 に分類されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N28 腎及び尿管のその他の障害、他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N28 腎及び尿管のその他の障害、他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：18.1 2022年1～9月累積：16.3 最大減少幅：-8.7</p>